

# 特定(産別)最低賃金 公労使全会一致で結審

第13回熊本地方最低賃金審議会が、10月14日に熊本地方合同庁舎で開催され、3つの産業の特定最低賃金が結審されました。審議会には公益代表5人、使用者代表5人、労働者代表5人が出席し審議が行われました。連合熊本は、労働者代表としてこの審議会に参画しています。これまで9月下旬から「電気機械器具」、「輸送用機械器具」、「百貨店・総合スーパー」の3つの産業でそれぞれ2～3回の審議が行われたことについて、その審議内容について報告、確認されました。今年も昨年に

引き続き、コロナ禍の中、使用者側からも大変厳しい意見が出され、さらに、地域別最低賃金が32円もの引上げで決定しているという難しい状況にありましたが、最終的には各部会とも引き上げを「公・労・使」全会一致で結審

されました。この答申を受け、熊本労働局では手続きが取られ、12月15日から適用される予定です。連合熊本は、引き続きすべての働く者の処遇改善のため、最低賃金の引き上げに取り組んでいきます。

|                      | ①電気機械器具 | ②輸送用機械器具 | ③百貨店・総合スーパー |
|----------------------|---------|----------|-------------|
| 現在の特定最賃              | 863円    | 902円     | 821円(地賃)    |
| 改定幅                  | +33円    | +29円     | +34円        |
| 2022年12月15日<br>発効予定額 | 896円    | 931円     | 855円        |
| 地賃比率                 | 105.04  | 109.14   | 100.23      |
| 採決                   | 全会一致    | 全会一致     | 全会一致        |
| 労働者数                 | 11,210人 | 9,154人   | 4,516人      |



連合熊本

# 3811 情報

発行 日本労働組合総連合会  
熊本県連合会  
発行・編集人 山本 寛  
〒862-0976  
熊本市中央区九品寺1丁目17-9  
☎(096)375-3811 FAX (096)375-3017  
印刷所 株式会社 チューイン  
2022年11月15日発行 No. 362

## 連合熊本 第27回地方委員会

# 持続可能性と包摂を基底に

「働くことを軸とする安心社会の実現—まもる・つなぐ・創り出す—」

2022年～2023年度運動方針を補強

### 議長団に森友紀地方委員(自治労)、泉秀明地方委員(JP労組)

連合熊本は第27回地方委員会※を10月27日(木)にANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにおいて開催しました。冒頭、梶田秀治副会長の「コロナ禍により、直接対面で話すことの重要性が改めて確認できた。本日は活発な議論でこの一年の方針を確認していただきたい」との開会あいさつにより開会が宣言されました。続いて、議長団に、森友紀地方委員(自治労)、泉秀明地方委員(JP労組)

が、資格審査・議事運営委員長に委員互選で中村秀良地方委員(UAゼンセン)が選出されました。

挨拶は、連合熊本の友田孝行会長が主催者あいさつ、上田哲也熊本県政策審議監兼商工雇用創生局長、大西一史熊本市長、新田峰雄熊本労働局長から来賓あいさつを受けました。



議長団の森友紀、泉秀明地方委員



梶田秀治副会長

中村秀良  
資格審査・  
議事運営委員長

上田哲也  
熊本県政策審議監兼  
商工雇用創生局長

大西一史熊本市長

新田峰雄  
熊本労働局長

## 構成組織・地協紹介 紙パ連合九州地方本部

私たち、紙パ連合九州地方本部は九州内の12単組・支部(約1500名)で構成しており、熊本県下では日本製紙八代工場構内で働く(松木産業労働組合・日本製紙八代紙工労働組合・八代港運労働組合・日本製紙労働組合八代支部)が加盟しています。主な活動は日本製紙構内労連八代協議会を通じて月に1度、役員会を開催し日常的に連携を図りながら様々な取り組みを展開しています。

私たち労働組合の大命題である「生

活向上の取り組み」はもちろんですが、紙パ産業は重篤災害の発生率が高いことから「安全への取り組み」に特に力を入れていきます。主な活動として、3単組1支部の役員を中心に日本製紙八代工場構内をパトロールし、危険箇所の指摘や災害発生個所の恒久対策の確認等を毎月行っています。今後も安全で安心して働くことのできる職場環境の構築のため、労働組合の立場から様々な活動を展開していきます。

最後に、紙パ連合は熊本県内でも産別

規模としては小さい組織ではありませんが、これからも上部・外部団体との連携や繋がりを意識しながら、各種活動へ積極的に参画・協力していきます。



紙パ連合各単組支部の役員

## お気に入り紹介 苦楽食堂

今回は、日本製紙八代工場構内で働く人々に昔から愛されている「苦楽食堂」を紹介します。一見、普通の民家に見えますが、赤ちようちんやのぼり旗が立っているのが目印です。この食堂は、ママが1人で食堂を切り盛りされており、店内での食事に加え弁当販売が行われています。工場従業員であれば知らない人はいないと言っても過言ではありません。バリエーション豊富なメニューが揃っていますが、なかでも1番人気は、ニンニクがガッツリと効いた、まさに労働者のための特大からあげ弁当。誰もが一度は注文するメニューであり、蓋が閉まり切らない程に特大からあげが盛り付けられ、ボリューム感・満足度も100%です。皆さんに是非一度は食べていただきたい一品です。



苦楽食堂の大盛から揚げ弁当

**苦楽食堂**  
熊本県八代市福正元町11-26  
TEL 0965-35-6608

## 編集後記

地方委員会では、来春の統一地方選挙での推薦候補予定者全員の当選に向け取り組むことが確認されましたが、政治家のうち、行政のルールを議論するのが議員で、ルールに基づき行政を執行するのが首長です。そして首長だけでなく、議員も地元の代表でなく、全体の代表として、考え・行動する立場にあるはずですが。しかし私たちは、地元への利益誘導も議員の役割と期待し、政策力より利益誘導力、政権に近いかどうかで議員を選んでしまいがちです。しかし、もし議員が施策や予算についての議論に徹し、執行については口を出せない(もし執行上の問題があるなら議会の場で取り上げる)仕組みに変わるなら、私たちは議員を純粋に政策内容で選び、もっといい方向に社会が進むかも、と思ったりします。(Talk to me)

## Topics RENGU KUMAMOTO

### 教育フォーラムくまもと「第37回シンポジウム」

- ①日 時 2022年12月4日(日) 9時30分より
- ②場 所 熊本県労働者福祉会館
- ③内 容 講演「外国から来た子どもたちの現状と課題」  
講師 岩谷美代子氏  
NPO法人外国から来た子ども支援ネットワークもと副代表
- ④申し込み 所属の組合にお問い合わせください。

### 今後の主なスケジュール

- 11月15日 連合熊本第14回執行委員会
- 19日 熊本地協ファミリーフェスタ
- 23日 higorokaSamittoform & award2022サミット
- 27日 ワークルール検定
- 30日 12月期県議会対策会議
- 12月3日 連合熊本  
第33回青年委員会総会
- 4日 教育フォーラム  
第37回シンポジウム
- 7日 連合・労福協合同研究会
- 8日-9日 全国一斉集中労働相談
- 10日 連合熊本  
第33回女性委員会総会
- 12日 ライフサポートセンター  
くまもと第14回総会
- 16日 連合熊本第15回執行委員会

## 連合熊本 友田孝行会長挨拶(抜粋)

当面する主要な課題について、3点に絞って申し上げていきたいと思ひます。

まず1点目は、長引くコロナ禍についてです。感染防止と社会・経済活動を両立していくウィズコロナへの新たな段階へと着実に移行して来ているものと思ひます。しかしながら、経済活動が再開してきた今日においても、セーフティネットが脆弱であるがゆえに、経済的困窮から抜け出せない人もおり、その影響は不安定な雇用形態で働く人、女性、外国人など弱い立場にいる人に深刻にあらわれており、セーフティネットの強化を急ぐ必要があります。

2点目は、春季生活闘争についてです。2022春季生活闘争について、中小組合の健闘もあつた中、県全体の賃上げ額・率ともに昨年比で大幅増となり、3年ぶりに2%を超える結果となりました。しかしながら、今年8月の全国消費者物価指数は、前年同月比2.8%上昇となつており、賃上げが物価高に追いついておらず家計の厳しさが増してきています。

2023春季生活闘争の本部方針の策定はこれからです

が、社会全体の生産性を高めていくためには、「人への投資」を起点として経済の力強い好循環を生み出していき、そのような闘争となるよう、ともに取り組んでまいりましょう。

3点目は、政策制度実現のための政治活動についてです。直近では、来月13日に施行される熊本市長選挙においては、連合熊本推薦候補の必勝とともに、来春第20回統一地方選挙における、連合熊本推薦の候補予定者全員の必勝に向け、連合熊本は一九となつて、取り組む決意を申し上げておきたいと思ひます。

結びに、今こそ、持続可能性と包摂を基底に置いた連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」が持つ意義を改めて確認し、実現に向け組織一体となつて取り組み、その取り組みを広く社会に発信し、社会から共感の得られる運動へとしていかなければなりません。運動の前進に向けてともに邁進して参りましょう。



友田孝行会長

## 連合愛のカンパ贈呈

続いて、「連合愛のカンパ」で集まった浄財の一部を、友田会長からウイメンズ・カウンセリンググループ熊本、おおづ子どもおにぎり会の2団体へ贈呈されました。

つづいて、11月の熊本市長選が、来春には統一地方選挙が実施されることから、各候補予定者からご挨拶がありました。特に熊本市長候補予定者である大西一史氏には推薦状が手渡されました。カウンセリングルーム熊本



ウイメンズ



おおづ子どもおにぎり会



大西市長へ推薦状を渡す友田会長

## 2023年度「運動方針補強案」満場一致で可決



山本事務局長

経過報告では、山本事務局長がこの一年の取り組みについて報告しました。特にロシアのウクライナ侵攻を受けて、世界の恒久平和を希求する立場から、作戦の即時中止・撤退を強く求める「緊急決議」を3月3日に行ったこと、9月県議会において、連合熊本が長年要請し続けてきた「公契約条列」が採択されたこと、集团的労使関係の構築に向け地域協議会や九州ブロックオルガナイザーと連携して取り組んできたこと、情報誌「3811」に加え、ホームページ、facebook、インスタグラム、ツイッター等を活用した情報発信に努めてきたこと、政策提言にかかる意見交換を県と執り行ったこと、2022春季生活闘争においては各構成組織の連携、世論喚起の取り組みの結果、賃上げの流れが継続でき、特に有



岩木会計監査

期・パート契約等労働者の引き上げ率が一般組合員を上回ったこと、最低賃金の取り組みでは目安を上回る額で結審し全国の引き上げに寄与したこと、男女平等参画、ジェンダー平等推進に向け熊本労働局への要請行動や産別状況調査を行ったことなどが報告されました。2022年度会計につい

ては、田中広幸副事務局長が会計報告し、岩木政英会計監査が監査報告を行いました。それぞれ、全体の大きな拍手で確認されました。

第1号議案は、運動方針の補強として山本事務局長が提起を行いました。大型商業施設のオープンやTSMCの進出など他県にない明るい材料がある中、県全体の経済活性化、雇用・労働環境改善につながるよう取り組みを進めること、集团的労使関係の拡充・強化の点から、地方連合オルガナイザーの早期配置をめざすこと、子育て・教育の改善に向けて「連合熊本教育フォーラム」の展開に取り組むこと、生活防衛の観点から地域ミニマム運動を積極的に展開すること、次期衆議院議員選挙について、いかなる場合にも対応できる

よう関係政党との連携を図っていくこと、連合本部で議論が進められている「地域ゼネラル連合（仮称）PT」「組織登録・交付金等のあり方に係る作業部会」については構成組織との情報共有に努めていくこと、構成組織の地域協議会への積極的な運動参加を働きかけることなどについて提起しました。

また、第2号議案2023年度会計予算案については、田中広幸副事務局長が提案し、第1号議案、第2号議案とも賛成多数で承認されました。



田中副事務局長



岡村選挙管理委員長



岡村役員推薦委員

## 新たに4副会長、3執行委員を選出

第3号議案役員補選については、まず、役員推薦委員会の岡村政治委員（自動車総連）からこれまでの経緯が説明され、峯潔副会長（自治労）、中谷真弥副会長（電機連合）、梶田秀治副会長（UAゼンセン）、園田海舟副会長（電力総連）、杉田正幸執行委員（熊教組）、緒方文夫執行委員（国公連合）、福田赴文執行委員（私鉄総連）の退任に伴い、副会長として木村光伸（自治労）、小材和博（電機連合）、西広継（UAゼンセン）、園田立児（電力総連）の各氏が、

執行委員として村枝哲弥（熊教組）、南正光（国公連合）、住吉隆典（私鉄総連）の各氏が提案されました。選挙管理委員互選で選出された岡村竜彦委員長（JAM）から選挙方法等について説明のあと採決され、賛成多数で承認されました。

最後に木村副会長が閉会のあいさつを行い、友田会長の音頭による参加者全員の団結ガンパローで地方委員会を締めくくりました。



峯潔副会長

中谷真弥副会長

梶田秀治副会長

園田海舟副会長

杉田正幸執行委員

緒方文夫執行委員

福田赴文執行委員



木村光伸副会長

小材和博副会長

西広継副会長

園田立児副会長

村枝哲弥執行委員

南正光執行委員

住吉隆典執行委員

## 2023統一地方選挙 連合熊本推薦候補予定者(熊本市関係)

連合熊本は来春行われる2023統一地方選挙において、右の候補予定者の推薦を決定しています。組合員の皆様への周知についてよろしくお願いいたします。



熊本県議会議員 西 聖一(第1区)

熊本県議会議員 岩田 智子(第1区)

熊本県議会議員 鎌田 聡(第2区)

熊本市議会議員 上田 芳裕(中央区)

熊本市議会議員 村上 博(中央区)

熊本市議会議員 田上 辰也(東区)

熊本市議会議員 山内 勝志(東区)

熊本市議会議員 島津 哲也(西区)

熊本市議会議員 西岡 誠也(南区)

熊本市議会議員 福永 洋一(北区)

熊本市議会議員 吉村 健治(北区)

## ハラスメントとは暴力であり、心と身体を侵害する人権侵害行為

### 女性委員会 ハラスメント学習会

11月5日(土)、連合熊本女性委員会は熊本県労働者福祉会館において「ハラスメント学習会」を開催し、36人が参加しました。

まず、NPO法人ウイメンズ・カウンセリングルーム熊本 代表の竹下元子先生から「職場におけるハラスメント対策」と題して講演がありました。ハラスメントとはどのような行為がセクハラ、パワハラ、マタハラ等に当たるのか、また、ハラスメントが起きる



講師の竹下元子先生

背景、起きた場合の対処法等について学びました。

特にセクシュアル・ハラスメントの背景については、男は男らしく、女は女らしくと生き方や振る舞い等の言動を型にはめるジェンダー問題があること、そして、差別や性暴力を受ける等の女性の問題についてはもちろん、併せて家計は男が担わなければならないといった、男性が抱え込んでいる「男性性」というジェンダーへの視座が必

要であることも説明されました。

講演の後には、6名程度の班に分かれ、①身近にあるハラスメントについて②ハラスメントを見かけたときの対応③ハラスメントをしない、させないためにできることについて意見交換を行い、最後に各班から報告を行いました。

ハラスメントは人権侵害問題であり、連合熊本、女性委員会は引き続きハラスメントのない職場づくりに取り組んでいきます。



グループワーク報告



学習会参加者

## スポーツを通してコミュニケーションの輪を広げよう！ 連合熊本青年委員会 スポーツ交流会を開催 パークゴルフ&バーベキュー大会

連合熊本青年委員会は、仲間と共に体を動かし汗をかき、交流を深め、疲れた心をリフレッシュすることを目的に、11月5日土曜日に、熊本市南区城南町の「どんぐりの森」において、スポーツ交流会「パークゴルフ&バーベキュー大会」を開催しました。参加者は、6産別、1地協から総勢31名の参加を頂きました。この2年間は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、「産別・地協対抗ボウリング大会」の



パークゴルフ

中止が続いたため、3年ぶりのイベントとなりました。パークゴルフでは、紙バ連合（日本製紙労働組合）の松本一真さんが優勝。そしてなんと同じく紙バ連合（日本製紙労働組合）の大西優果さんがホールインワンを達成されました。パークゴルフの後は、施設内において表彰式を兼ねてのバーベキューをしました。途中で「人名ビンゴ大会」を行うなど、他組織の参加者と、



ホールインワン大西さん(左)と優勝の松本さん(右)

否が応でも交流を図るなどの工夫もを行い、参加者からは、「やっぱり集合型でのイベントは良いもんですね」と評価を頂きました。現体制での青年委員会にとって、初めての自主開催イベントとなり、準備や当日の運営など主催者側もたいへん勉強になる1日となりました。青年委員会は12月3日に第33回総会を開催し、新たな体制での活動が始まります。



表彰式を兼ねたバーベキュー